

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-2101

(P2001-2101A)

(43) 公開日 平成13年1月9日 (2001.1.9)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード* (参考)
B 6 5 D 43/22		B 6 5 D 43/22	A 3 E 0 3 6
85/57		85/57	C 3 E 0 8 4
85/575		85/575	

審査請求 未請求 請求項の数8 書面 (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平11-212589

(22) 出願日 平成11年6月21日 (1999. 6. 21)

(71) 出願人 595086029

株式会社日新

岡山県和気郡和気町日笠下1520番地

(72) 発明者 光山 益弘

岡山県和気郡和気町衣笠1071番地

F ターム (参考) 3E036 AA05 EA10 FA01 FB03

3E084 AA05 AB10 BA01 CA03 DA03

DB14 FA02 GA06 GA10 GB06

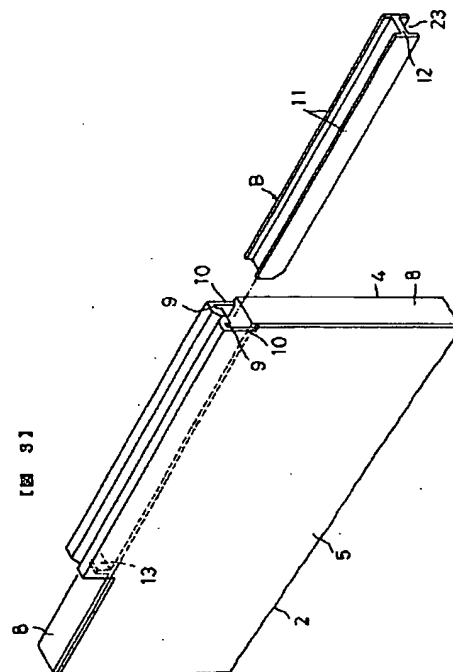
GB13 GB19 GB23 KA11

(54) 【発明の名称】 ケース

(57) 【要約】

【課題】 ケースから収納商品が抜き取られるのを防止するようにしたことにある。

【解決手段】 側面に商品の出し入れ用の開口を有する箱体2と、この箱体の下縁にヒンジを介し開閉自在に設けた蓋体4とでケースAを構成すると共に、箱体及び蓋体の上縁に設けた並列係合溝9に係合状態に、かつ抜き差し自在にスライダBを差し込む。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 側面に商品の出し入れ用の開口を有する箱体と、この箱体の下縁側に適宜のヒンジを介し前記開口を開閉するように設けた蓋体と、この蓋体と前記箱体との上縁に設けた並列係合溝とからなるケース。

【請求項2】 上記係合溝或いは箱体、蓋体のいずれかに差し込んだスライダの抜止め係止手段を設けたことを特徴とする請求項1に記載のケース。

【請求項3】 側面に商品の出し入れ用の開口を有する箱体と、この箱体の下縁側に適宜のヒンジを介し前記開口を開閉するように設けた蓋体と、この蓋体と前記箱体との上縁に設けた並列係合溝とからなるケースにおいて、前記係合溝に前記ケースの閉鎖状態維持の係合状態に、かつ抜き差し自在にスライダを差し込むケース用スライダ。

【請求項4】 側面に商品の出し入れ用の開口を有する箱体と、この箱体の下縁側に適宜のヒンジを介し前記開口を開閉するように設けた蓋体と、この蓋体と前記箱体との上縁に設けた並列係合溝とで構成したケースと、前記係合溝に前記ケースの閉鎖状態維持の係合状態に、かつ抜き差し自在に差し込んだスライダとからなり、上記スライダと上記ケース或いは係合溝との対向面に前記スライダの差し込みにもない押し戻され、かつ差し込み終了にもない係合関係になるような係止手段を設け、この係止手段を挟んで対向する面間に前記係止手段の係合解除用解除具の差し込み間隙を設けたことを特徴とするケース。

【請求項5】 上記のスライダに盗難防止用のタグを設けたことを特徴とする請求項3、4に記載のケース用スライダ。

【請求項6】 上記のスライダの差し込み先端に突き破り尖鋭部を設けたことを特徴とする請求項2、3に記載のケース用スライダ。

【請求項7】 上記スライダと解除具との重なり面に前記解除具の差し込み終了時点で係合関係になるような係合手段を設けたことを特徴とする請求項4に記載のケース。

【請求項8】 上記並列係合溝間に空隙を設けると共に、この空隙にスライダから突出する指先引掛部を嵌入したことを特徴とする請求項4に記載のケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、陳列や販売以外に貸し出しケースになると共に、収納商品の盗難を防止するケースや、ケースの開放阻止スライダ及びケースに対するスライダの係合関係解除具に関する。

【0002】

【従来の技術及びその課題】例えば、レンタルショップでレンタル商品であるビデオテープやディスクなどの収納ケースを並べて陳列した際、ケースの収納商品の盗難

防止機能、すなわちケースを開放して収納商品の抜き取りを防止する手段がないため、商品の不正な持ち出し（盗難）が発生する。

【0003】また、上記の盗難を防止する手段として、店の出入口に磁気センサなどの検知手段を配置し、ケースや収納商品に磁気コイルなどのタグを取付けておくことが知られている。

【0004】しかしながら、ケースはもとより商品にまでタグを取付けるので、タグの取付けに多大な手数料がかかると共に、大幅なコストアップになる問題が発生した。

【0005】さらに、タグの取付けてあるケースを販売ケースとした際、取付けてあるタグを回収しないかぎり損失の発生原因になる。勿論、商品にタグが取付けてあるので同様の問題が発生する。

【0006】そこで、この発明の課題は、ケースに収納商品の盗難防止機能を付与し、また、ケースや商品にタグの取付けが不要になるようにしたことにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】

【0008】上記の課題を解決するために、この発明は、側面に商品の出し入れ用の開口を有する箱体と、この箱体の下縁側に適宜のヒンジを介し前記開口を開閉するように設けた蓋体と、この蓋体と前記箱体との上縁に設けた並列係合溝とからなる構成を採用したり、上記係合溝或いは箱体、蓋体のいずれかに差し込んだスライダの抜止め係止手段を設けた構成を採用する。

【0009】また側面に商品の出し入れ用の開口を有する箱体と、この箱体の下縁側に適宜のヒンジを介し前記開口を開閉するように設けた蓋体と、この蓋体と前記箱体との上縁に設けた並列係合溝とからなるケースにおいて、前記係合溝に前記ケースの閉鎖状態維持の係合状態に、かつ抜き差し自在にスライダを差し込んだことを特徴とするケース用スライダを採用する。

【0010】さらに側面に商品の出し入れ用の開口を有する箱体と、この箱体の下縁側に適宜のヒンジを介し前記開口を開閉するように設けた蓋体と、この蓋体と前記箱体との上縁に設けた並列係合溝とで構成したケースと、前記係合溝に前記ケースの閉鎖状態維持の係合状態に、かつ抜き差し自在に差し込んだスライダとからなり、上記スライダと上記ケース或いは係合溝との対向面に前記スライダの差し込みにもない押し戻され、かつ差し込み終了にもない係合関係になるような係止手段を設け、この係止手段を挟んで対向する面間に前記係止手段の係合解除用解除具の差し込み間隙を設けた構成を採用する。

【0011】また上記のスライダに盗難防止用のタグを設けることもある。

【0012】さらに上記のスライダの差し込み先端に突き破り尖鋭部材を設けることもある。

【0013】また上記スライダと解除具との重なり面に前記解除具の差し込み終了時点で係合関係になるような係合手段を設けることもある。さらに、並列係合溝間に空隙を設けると共に、この空隙にスライダから突出する指先引掛部を嵌入することもある。

【0014】

【発明の実施の形態】この発明の実施の形態を添付図面に基づき説明する。

【0015】この発明の第1の実施形態のケースAは、図1及び図2に示すように、側面に商品の出し入れ用の開口1を有する箱体2と、この箱体2の下縁側にヒンジ3を介し開口1を開閉するように設けた蓋体4とで構成されている。

【0016】上記の箱体2は、図示の場合側壁5と、この側壁5の各辺縁から連なって側壁5の裏面側に突出する周壁6とで構成され、蓋体4は、図示の場合側壁7と、この側壁7の下辺以外の辺縁から連なって側壁7の裏面方向に突出すると共に、周壁8とで構成され、ヒンジ3は、図示の場合側壁7の下辺と周壁6との連結部分にハーフカットにより設けたが、他のヒンジを用いることもあり、合成樹脂を素材とした成形などで設ける。勿論、周壁6、8などの一部に収納商品の抜き取りができない切欠きなどを設けることもある。

【0017】また、箱体2と蓋体4との上縁（ヒンジ3に対向する辺側）には、並列係合溝9、9が設けてある。

【0018】上記の並列係合溝9、9は、図示の場合、側壁5、7の延長に7字状の屈曲壁10をそれぞれ連成して内側に二条設けたが、使用するスライダ（後述する）の形状にあわせて設ければよい。

【0019】上記のように構成すると、箱体2に例えばレンタルショップにあっては、レンタル商品を収納したのち、蓋体4によって開口1を閉鎖する。このとき、係合溝9、9は、図2に示すように並列状になる。

【0020】この発明の（第1の実施形態のケースに用いる）第2の実施形態のスライダBは、図3に示すように、閉鎖状態におけるケースAの並列係合溝9、9に係合させて抜き差し自在に差し込むように構成されている。

【0021】すると、並列係合溝9、9に係合状態に差し込んだスライダBによってケースAの開放を阻止するので、棚に陳列したケースAに収納してある商品の盗難を防止することができる。

【0022】ただし、スライダBを引き抜くことによって並列係合溝9、9とスライダBとの係合関係が解除されて蓋体4の開放が可能になるが、陳列時のケースAからスライダBを引き抜くことは、不正感によりちゅうちょさせて盗難防止になる。

【0023】上記のスライダBは、図示の場合、並列係合溝9、9に上縁部を嵌合して屈曲壁10、10の内側

に嵌入する左右一対の側板11、11と、この両側板11の対向面上下縁間の中間を接続する連結板12とで構成（端面H形に）したが、並列係合溝9の配置、例えば並列突出壁の外側に溝を設けた場合、この溝に係合して両突出壁の外側に嵌装する溝形であってもよい。要するに、差し込むスライダに並列係合溝に係合してケースの開放を阻止するものであればよい。

【0024】なお、図示のようにストッパ13（図示の場合周壁8の設けたが、屈曲壁10に設けてもよい）にスライダBの差し込み先端を当接させて定位置にスライダBを停止させるようになっている。その際、ケースAを傾けてもスライダBが滑走して抜け落ちない接触抵抗があるようにしておくことが望ましい。

【0025】この発明の第3の実施形態では、図4から図6に示すように、第2の実施形態のスライダBと第1の実施形態のケースA或いは係合溝9との対向面には、スライダBの差し込みにとまない押し戻され、スライダBの差し込み終了にとまない係合関係になってスライダBの引き抜きを阻止する係止手段21が、また係止手段21を有する対向面間に係止手段21の係合解除具22の差し込み間隙23が設けてある。

【0026】上記の係止手段21は、図示の場合周壁8とスライダB（スライダBの連結板12）との対向面一方に設けた凹入或いは貫通孔の係止部24と、他方にスライダBの差し込み時に突出力に抗して押し戻され（押し逃がされ）、スライダBの差し込み終了にとまない合致する係止部24に自動的に嵌り込んで係合関係になると共に、スライダBの差し込み方向の反対方向のスライドを止める係止片25とで構成されている。

【0027】なお、図示の場合ケースA側に係止部24を、スライダB側に係止片25を設けたが、限定されず逆に設けることもでき、またスライダBや係合溝9の形状によって位置を変更することもでき、さらに、係止片25は、図示の場合連結板12にコ字状のスリット26を入れて、このスリット26の内側を係止部24側に突出させて設けると共に、スライダBと一体的に成形する合成樹脂のもつ弾力を利用して元の位置に復帰させるようにしたが、別部品を取付けて設ける以外に、図18に示すように、合成樹脂によるスライダBの成形の際に一体的に係止片25を設けることもできる。

【0028】また、図示のように、係止片25に連結板12に対する連結部分から自由端に向け、かつ対向する係止部24側に突出度合いが徐々に大きくなるテーパ面部27を設けておくと、スライダBの差し込みがスムーズになると共に、スムーズに係止片25を押し戻すことができる。

【0029】さらに、上記の間隙23は、図示の場合、連結板12と両側板11とで囲まれた空隙を利用したが、スライダBや係合溝9の配置位置によって溝などを設けて形成することもある。

【0030】上記のように構成すると、第2の実施形態のように、並列係合溝9に係合状態にスライダBを差し込んでケースAの開放を阻止する。

【0031】その際スライダBの差し込みにともない周壁8に当接する係止片25を押し戻し、スライダBの差し込み終了にともない係止部24に係止片25の自由端が合致するので、周壁8による押し戻しの解除された係止片25が復帰（元の姿勢に）して、係止部24に係止片25の自由端が図6に示すように嵌り込み係合する。

【0032】この係合関係によって第3者によるスライダ8の引き抜きが阻止されるので、ケースAを開放することができない。すなわち、ケースAに収納してある商品の盗難を防止することができる。

【0033】なお、図示の場合、前後に二個の係止手段21を配置したが、数は自由に決定すればよい。

【0034】上記係止手段21の係合関係を解除するための間隙23に差し込む係合解除具22は、図9、図10及び図11に示すように間隙23に差し込む板状体31と、この板状体31から連なって前方に突出すると共に、前方の係止片25を押し戻して係止部24から係止片25を脱出（係合関係解除のため）させる（図11に示すように）長尺片32と、手前の係止片25を押し戻して係止部24から係止片25を脱出（係合関係解除のため）させる（図11に示すように）短尺片33を並設して形成する。

【0035】その際、長尺片32は、図10に示すようにスライダBから突出するガイド34によって前方の係止片25の下側センターに案内されるように長尺片32を屈曲させ、そして係止片25の一侧縁から下向きに突出するガイド片35によって長尺片32の先を係止片25の下面センターに案内する。

【0036】一方短尺片33は、先端を先細り状にして、係止片25の両側縁から下向きに突出する並列ガイド片36間に嵌入して係止片25の下面センターに案内する。

【0037】ただし、係合解除具22は、上記の構成に限定されず、係止手段21が1個の場合、一枚の板状体を用いて行なう。

【0038】なお、係止部24は、図示の貫通孔に限定されず、凹入部や図19、図20に示すように例えば周壁8の上面（間隙23を有する面）に突起を突出させて設けることもある。

【0039】その際、係合解除具22の差し込み時に長尺片32及び短尺片33の差し込み先端が衝突（突起に）しないように考慮しておく。

【0040】図中37は係合解除具22の差し込みストッパである。

【0041】この発明の第4の実施形態では、図12に示すようにスライダBの所望の位置に不正な持ち出し防止のタグ41が取付けてある。

【0042】このタグ41は、周知のように磁気コイルなどで、店の出入口に配置した磁気センサーなどの検知手段で検知される。

【0043】上記のタグ41は、図示の場合スライダBの側面に凹入部42を設けて、この凹入部42に嵌め込むタグ41を接着剤などで固定したが、取付け位置や取付け手段は上記に限定されない。

【0044】勿論図21に示すように、並列係合溝9をケースAの辺縁全長に設けて、それに見合うようにスライダBも長くすると共に、スライダBの差し込み先端側の長く延長した部分にタグ41を設ける（取付ける）こともある。

【0045】上記のように構成すると、商品の販売やレンタルの際に店側にスライダBを残すので、大幅なコストアップになるケースや商品にタグを取付ける必要がない。

【0046】この発明の第5の実施形態では、図13に示すようにスライダBの差し込み先端には、突き破り尖鋭部51が設けてある。

【0047】上記の尖鋭部51は、図示のV字状以外に、図22に示すようにドライバーのプラス形状の尖鋭部51などにもすることもある。

【0048】要するに、図14に示すようにケースAを包装する熱収縮フィルムなどの包装フィルム52を尖鋭部51によって突き破って並列係合溝9にスライダBを差し込む。すると、フィルム52によってケースAが包装されていても包装ままケースAにスライダBを差し込むことができる。

【0049】なお、図22及び図23に示すように並列係合溝9、9のスライダBの差し込み端部に欠除部71を設けておくと、尖鋭部51により突き破った包装フィルム52の破り端がスライダBにより押し込まれても、押し込んだ破り端が欠除部71内に逃げ込んでスライダBのスムーズな差し込みを阻害しない。

【0050】この発明の第6の実施形態では、図9、図13、図15や図11、図16、図17に示すように、スライダBと差し込んだ解除具22との重なり面には、自動的に係合関係になる係合手段61が設けてある。

【0051】上記の係合手段61は、図示の場合スライダBに凹部62を、解除具22に差し込み終了時凹部62に嵌り込み係合するように引き抜く方向に突出度合いの大きいテーパー突部63とを設け、図15に示す凹部62と突部63との噛み合いにより係合関係になり、解除具22を引き抜くと共にスライダBの引き抜かれるようにした（解除具22を若干持ち上げぎみにしながら）方式や、短尺片33の上面に設けた凹入段部65の角に、解除具22の差し込みにともない短尺片33によって上方に復帰力に抗して押し逃がされ、解除具22の差し込み終了にともない凹入段部65に合致すると共に、凹入段部65に嵌り込み係合する弾片66とで係合関係

になり、解除具22と共に、スライダBを引き抜く方式がある。

【0052】この発明の第7の実施形態では、図24及ぶ図25に示すように、並列係合溝9、91間に所定の空隙73を設けておく。そして、この空隙73に差し込んだスライダBから突出する指先掛合部74を嵌入させる。

【0053】勿論、空隙73は、スライダBの差し込みにとともに指先掛合部74が空隙73内に嵌入し、そして空隙73を移動するので、全長にわたり、或いは必要

な範囲設ける。
【0054】すると、スライダB及び解除具22の差し込み終了後図24に示すように指先掛合部74に指先を押し当てると共に、押し当て状態を維持しながらスライダBの抜き取り方向に指先を移動(図24矢符方向に)させると、指先の押し当てによる加圧力でスライダBと共に解除具22が重なり合った状態で抜ける方向にスライドする。従って、スライダBと解除具22との第6の実施形態のような係合手段61が不要になる。

【0055】なお、指先掛合部74の突出長さは、見苦しくない程度に突出させればよい。

【0056】また、図26に示すようにスライダBの差し込みにとともに係止手段21が係合関係になったとき、スライダBと周壁8との対向面一方の係止部75に弾片76が自動的に嵌り込み係合するようにして、スライダBの差し込み方向のスライドをストップさせると、ケースA側にストップ13が不要になる。

【0057】勿論、弾片76は、解除具22の差し込みにとともに押し逃げされて、弾片76と係止部75との係合関係が解除されるようになっている。

【0058】上記に係止部75及び弾片76は、前述の係止手段21と同様につき説明を省略する。

【0059】

【発明の効果】この発明の係るケース及びスライダは、以上のように構成してあるので、ケースに収納してある商品の盗難を防止することができると共に、店側の解除具によってスライダとケースとの係止手段の係合関係を解除して、引き抜いたスライダを店側に残すため、ケースを販売或いは貸出しケースとして使用することができる。

【0060】また、スライダにタグを設けたので、ケースや商品の両方にタグを取付ける手間をなくすることができると共に、店側にタグ付スライダを残すため、ケースや商品を販売などしても、タグの損失がない。

【0061】すなわち、ケース毎にスライダが不要になる。その理由はケースは品物を収納してメーカー側から出荷されるものであり、スライダは、販売店やレンタル店のみに備えるものである。従って店側に回収されたタグ付スライダは、再使用できて経費の節減になる。

【0062】さらに、スライダに突き破り尖鋭部を設け

たあるので、ケースの包装フィルムを突き破ってスライダを差し込むこともできる。

【0063】また、スライダと解除具とに設けた係合手段により解除具とスライダとを共に引き抜くことができる。

【0064】さらに、並列係合溝間の空隙に嵌入する指先掛合部によって、スライダと共に解除具をスライドさせて抜き取ることもできる。

【0065】なお、スライダBの端末に周壁8に外接するL形の屈曲片(図示省略)を設けることもある。すると、屈曲片が当りになる。その際、屈曲片に窓を設けて解除具の差し込みができるようにしておく。

【0067】

【図面の簡単な説明】

【図 1】この発明の第1の実施形態のケースを示す斜視図

【図 2】ケースの縦断正面図

【図 3】ケースとスライダの斜視図

【図 4】第3の実施形態のスライダを示す斜視図

【図 5】ケースとスライダの斜視図

【図 6】スライダを差し込んだ縦断側面図

【図 7】図6のX-X線に沿う断面図

【図 8】図6のY-Y線に沿う断面図

【図 9】同上に用いる解除具の斜視図

【図 10】解除具の使用を示す横断平面図

【図 11】同縦断側面図

【図 12】第4の実施形態のスライダを示す斜視図

【図 13】第5の実施形態のスライダを示す斜視図

【図 14】同上の使用状態を示す斜視図

【図 15】第6の実施形態の要部を示す縦断側面図

【図 16】解除具の斜視図

【図 17】スライダの縦断側面図

【図 18】他のスライダを示す斜視図

【図 19】係止部の他の例を示す下面図

【図 20】同上の縦断側面図

【図 21】スライダと係合溝とその他の例を示す斜視図

図

【図 22】第5の実施形態の他の例を示す斜視図

【図 23】同上の要部を示す縦断側面図

【図 24】第7の実施形態の縦断側面図

【図 25】同上の縦断正面図

【図 26】スライダの停止位置決めを示す縦断側面図

図

【符号の説明】

A ケース

B スライダ

1 開口

2 箱体

3 ヒンジ

4 蓋体

- 9 係合溝
- 11 側板
- 12 連結板
- 21 係止手段
- 22 解除具
- 23 間隙
- 24 係止部
- 25 係止片
- 26 スリット
- 27 テーパー面部
- 31 板状体
- 32 長尺片
- 33 短尺片
- 34 ガイド

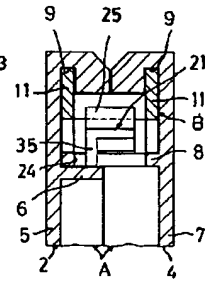
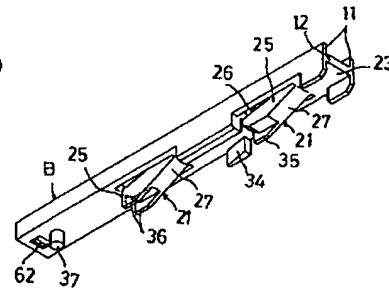
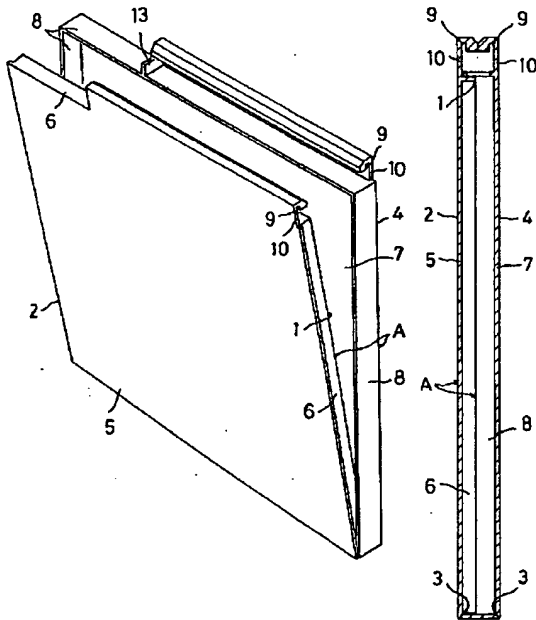
- * 35 ガイド片
- 36 ガイド片
- 37 ストップ
- 41 タグ
- 42 凹入部
- 51 尖鋭部
- 52 包装フィルム
- 61 係合手段
- 62 凹部
- 10 63 テーパー突部
- 65 凹入段部
- 66 弾片
- 73 空隙
- * 74 指先掛合部

【図 1】

【図 2】

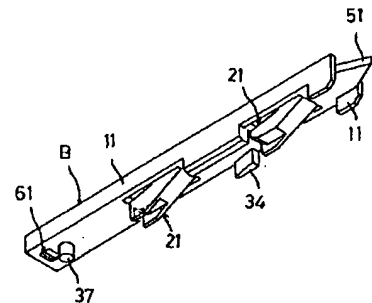
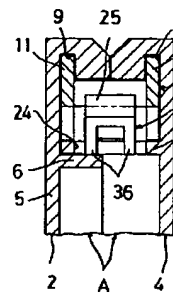
【図 4】

【図 7】

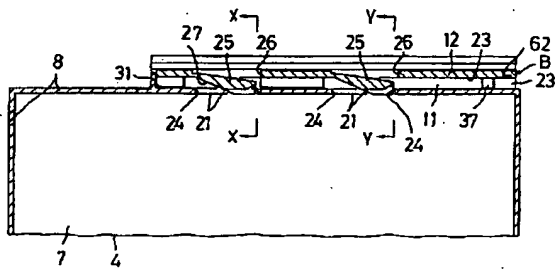


【図 8】

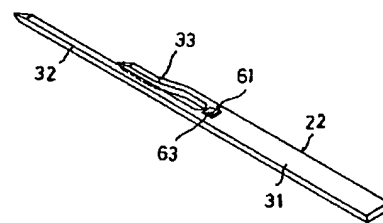
【図 13】



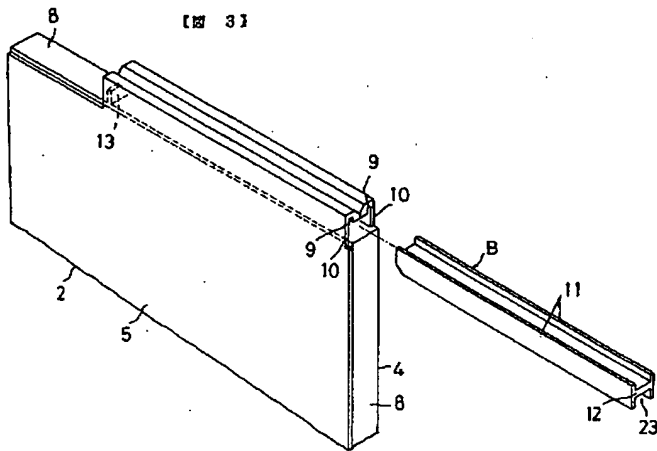
【図 6】



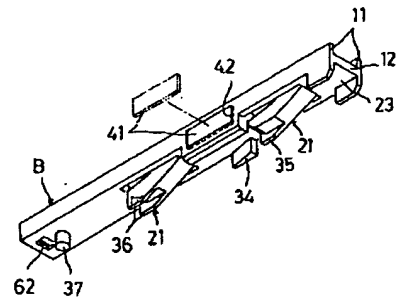
【図 9】



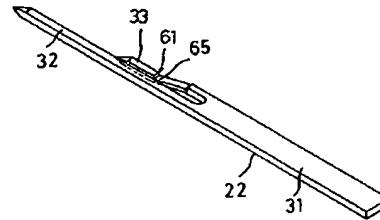
【図 3】



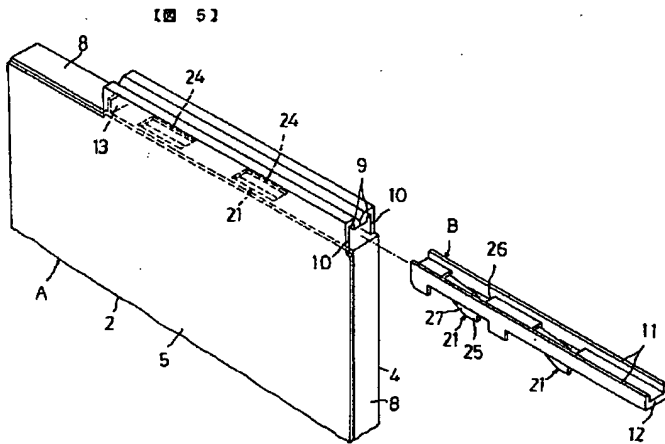
【図 12】



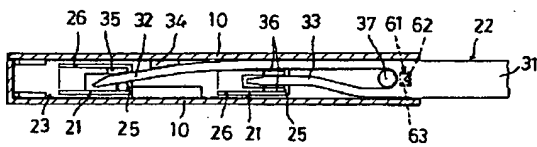
【図 16】



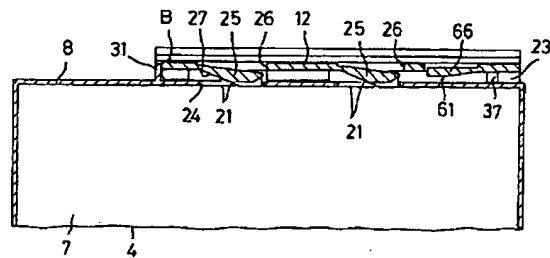
【図 5】



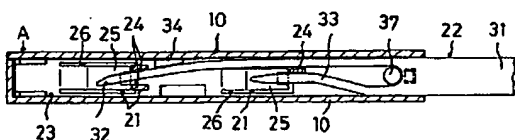
【図 10】



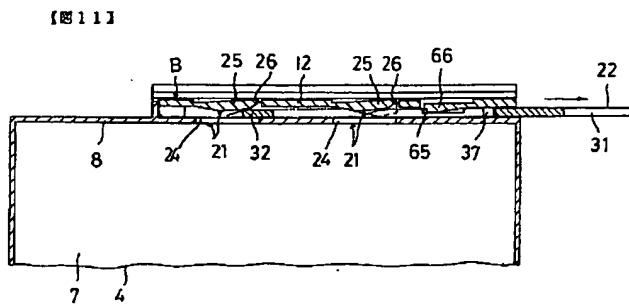
【図 17】



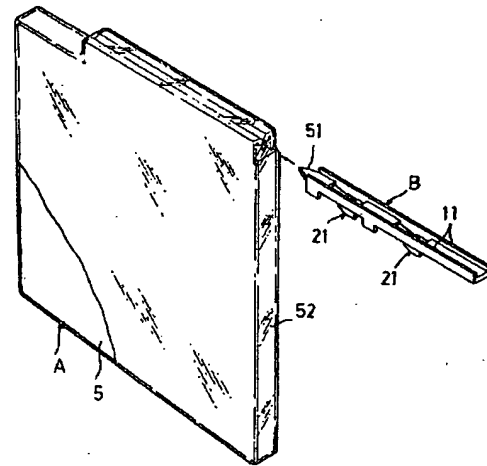
【図 19】



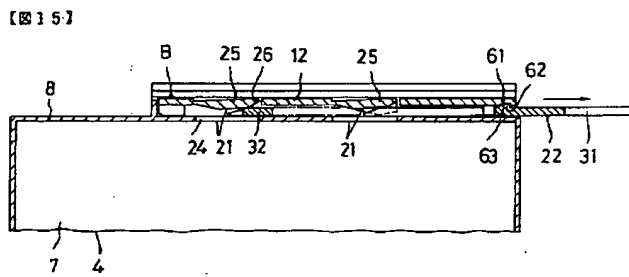
【図11】



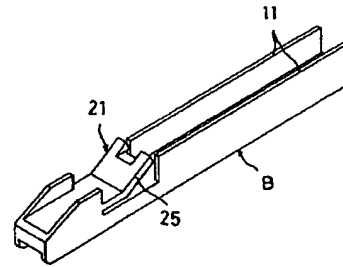
【図14】



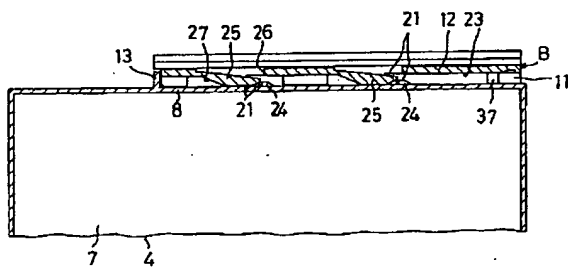
【図15】



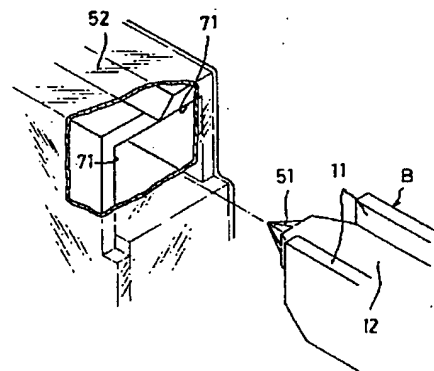
【図18】



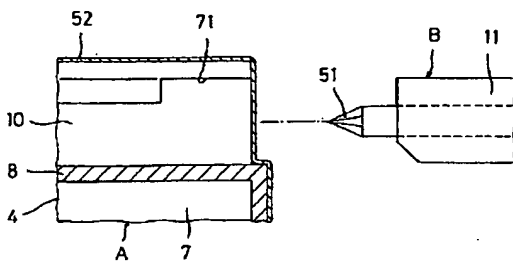
【図20】



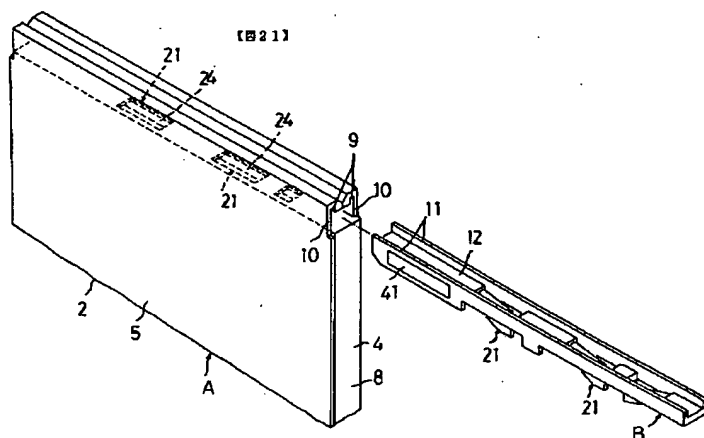
【図22】



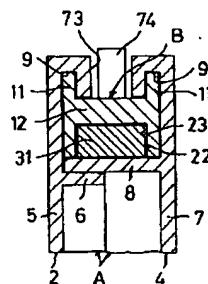
【図23】



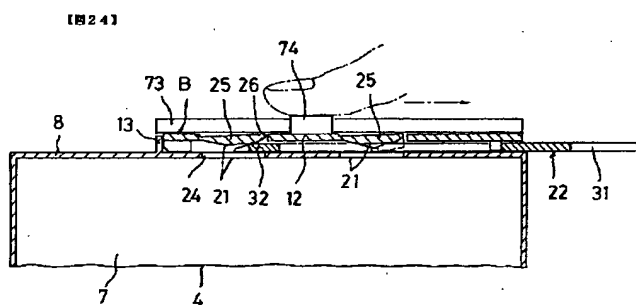
【図21】



【図25】



【図24】



【図26】

